

= 終末の光 =

1 主は闇の心に光を差し込ませ、人生を変えられる。

天地創造の業と同じ。創 1:2

パウロの出会いも天の光 使 9:3 正に、希望の光。

ヨブ 33:23-30

光を遮るのは、敵であり、自分。2 コリント 4:3-7、ヨハネ 3:18-21

2. 光と出会った後の歩み

光がないと、つまずく。ヨハネ 11:8-10

しかし、私たちは闇の子ではなく、昼間の子、1 テサ 5:5

ただしイエスが十字架に付けられたからと言って、自動的に罪がきよめられるわけではない。光の中を歩むことが条件。ヨハネ 8:12、1 ヨハネ 1:7

3. 終末での歩み。

3-1 光と闇の区別。

終末になるほど、闇に属する者達と光に属する者たちの区別がはっきりとしてくる。

光の子たちが集まっているところに、主は光を当てられる。出エジプト 10 : 21-23

3-2 終末では闇が深まり、光の中にいないとつまずく。1 テモテ 4:1

その日が近づく ⇒霊的戦いの激化とともに地上では肉的に眠くなる。

10 人の乙女、ゲッセマネでの弟子達の居眠り。

私たちにできることは、目を覚まして主との交わりを保ち続けること。

1 テサロニケ 5:2-6、マタイ 26:41

盲人の癒しのたとえ ヨハネ 9 章

3. 結論

詩篇 56:12 神よ。あなたへの誓いは、私の上にあります。私は、感謝のいけにえを、あなたにささげます。

56:13 あなたは、私のいのちを死から、まことに私の足を、つまずきから、救い出してくださいました。それは、私が、いのちの光のうちに、神の御前を歩むためでした。